



2022年4月25日

各位

会社名 株式会社データホライゾン
代表者名 代表取締役社長 内海 良夫
(コード番号: 3628 東証グロース)
問合せ先 取締役管理本部長 内藤 慎一郎
(TEL 082 - 279 - 5525)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社グループは、最近の業績動向を踏まえ、2021年8月11日に公表した2022年6月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年6月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年7月1日~2022年6月30日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 4,000	百万円 360	百万円 370	百万円 240	円 銭 22.60
今回修正予想 (B)	2,910	△430	△440	△400	△37.66
増減額 (B-A)	△1,090	△790	△810	△640	
増減率 (%)	△27.3	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2021年6月期)	3,330	348	363	283	26.73

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 修正の理由

地方自治体（国民健康保険の保険者）の2021年度事業（2021年4月~2022年3月に実施）は、度重なる新型コロナウイルス感染症拡大により、地方自治体のお客様の職員をはじめ看護師、保健師が新型コロナウイルスワクチン接種などの対応に追われるなどの影響により、お客様都合での予算削減や事業中断、重症化予防事業での指導時の感染リスクを理由とした指導人数の減少、新規のお客様からの受注減少など当社事業に影響を受けました。

また、当社が第4四半期で見込んでいた地方自治体の2022年度事業（2022年4月~2023年3月に実施）からの売上案件においても、お客様の新型コロナウイルス感染症の対応に追われる状況は拭いきれず、多くの売上案件が7月以降（2023年6月期）へずれ込むなど、目標を大きく下回り、売上高は、29億10百万円と前回予想と比べ10億90百万円減少（減少率27.25%）となる見込みとなりました。

一方で、費用面では当期に売上高2割増加を目指し提供体制の強化を進めました。また、2023年6月期に新たに遠隔指導による重症化予防指導を拡大するための準備と、2024年6月期に第3期データヘルス計画の作成を中心に需要が大幅に増加することが予想されるため、営業体制とサービス提供体制の強化、自治体のDX化に対応したシステムやデータ利活用事業などの新事業への研究開発費投資は予定通り行いました。

この結果、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回予想を下回り赤字となる見込みとなりました。

2. 配当について

期末配当につきましては、前回発表予想（1株当たり 6.67 円）から変更ありません。

(注)本資料に記載の予想数値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上